

# 公安委員会定例会議の開催概要

開催日時 平成30年7月30日（月） 13時00分～14時50分

## 1 議題事項

### 警察職員等の援助要求について

県警察から、「天皇皇后両陛下の北海道行幸啓に伴い、警察法第60条第1項に基づき、北海道公安委員会から航空隊の援助要求があったため、審議願いたい。」旨の説明を受け、審議の結果、了承した。

## 2 報告事項

### (1) 県議会の開催状況について

県警察から、「第294回定例会では、「性犯罪・性暴力被害者への支援」、「LED信号灯器の着雪・凍結対策」、「高齢者の交通安全対策及び特殊詐欺対策の取組」等について、定例会中の文教公安委員会では、「優秀な人材確保と適切な人員配置」、「大規模災害発生時の警察の対応」等について質疑があり、本部長及び担当部長が答弁した。」旨の報告があった。

### (2) 平成30年6月中の苦情取扱状況及び感謝事例の紹介について

県警察から、6月中の苦情取扱状況及び感謝事例について報告があった。  
委員から、「配慮不足から苦情に至っているものが多いが、事案の軽重で対応に差が生じたのだとすれば、しっかりした教育、指導が必要である。」、「感謝事例は、深く踏み込んだ対応への感謝の意であり、今後も多くなることを期待する。」旨の発言があった。

### (3) 犯罪被害者等給付金（重傷病給付金・障害給付金）支給裁定申請の受付について

県警察から、「青森市内で発生した傷害事件に係る重傷病給付金及び障害給付金の申請がなされ受付した。今後、裁定のため所要の調査を行い公安委員会に諮る予定である。」旨の発言があった。

### (4) 平成30年度第1四半期監察実施結果等について（抜粋）

県警察から、「監察課による平成30年度第1四半期における随時監察では、指摘・指導事項が15件あった。また、警察庁及び東北管区警察局による総合・随時監察では、指摘・指導事項はなかった。」旨の報告があった。

委員から、「交番等への抜き打ちチェックは、気を引き締める意識を持たせるためにも大切な指導の一つであり、継続して行っていただきたい。」旨の発言があった。

### (5) 平成30年上半年における少年非行の概要について

県警察から、「本年上半期の刑法犯少年の検挙・補導人員は99人、前年同期比マイナス8人であった。罪種別・学識別では、窃盗犯が増加し全体の約8割を占め、中学生、高校生、無職少年が減少した。」旨の報告があった。

委員から、「10年間で少年非行数が激減している。規範意識の向上が浸透してきている効果と思われるので、今後も継続していただきたい。」旨の発言があった。

以 上